

クリニカル・ラダー Lv.3 画像診断領域

大項目	中項目	小項目	項目
(実践能力) 高度な専門知識を習得し、新人教育の指導ができる	画像診断	読影	生体学的、基礎解剖に基づき主訴、症状から予測される画像について読影ができる 読影結果を読影レポートにまとめることができる
		病態生理学	病態生理学、病態薬理学、臨床解剖学について理解できる 検査データを理解し、病態に対して画像所見(画像解剖学)が理解できる 慢性期医療変遷の画像診断検査について(がん、心筋梗塞、脳卒中、糖尿などの疾患、合併症など)対応できる
		検査技術	検査の目的・内容・意義を理解し、最適な検査プロトコルを構築できる 最適な検査プロトコルを実践できる
		救急	内因性疾患に対する各種画像検査と画像認識を適切に実施できる 外傷診療における検査の実践ができる 災害時におけるトリアージおよび医療体制に対応できる
		医療安全	医療安全を確保し、かつ感染症予防を理解できる 感染症対策に関する対応を実践できる
		画像支援	画像等手術支援に準じた3D画像処理ができる
	死亡時画像診断	法令・倫理	死亡時画像診断に関する関係法令について理解できる 遺族に対する倫理的配慮について理解できる 死亡時画像診断の検査目的について理解できる
		撮影技術・管理技術	死亡時画像診断の画像を管理できる 死亡時画像診断における感染防止対策(汚染防護)について実践できる 死亡時画像診断のモダリティについて決定できる CTを用いた死亡時画像診断について実践できる MRIを用いた死亡時画像診断について実践できる 一般撮影を用いた死亡時画像診断について実践できる 死亡時画像診断の画像処理を実践できる
		画像所見	死亡時画像診断の画像所見について理解できる 小児の特性を考慮した死亡時画像診断の画像所見について理解できる
		病理解剖・死生学	死体(病理)解剖の知識について理解できる 法医学の基礎知識について理解できる 遺体ケアについて理解できる 生命倫理及び死生学の知識について理解できる 微生物学及び感染症学の知識について理解できる
		体制整備	死亡時画像診断を実践するための連絡体制を構築できる 刑事裁判に対する死亡時画像診断の利用法について理解できる
		放射線管理	精度管理
	医療被ばく		医療放射線防護について理解できる 医療被ばく最適化のための診断参考レベルを理解できる 患者、従事者に対する医療被ばくへの対応ができる 患者、従事者に対する医療被ばくの管理ができる